

としょ とうがくおんむ  
 ~\*おすすめ図書リスト\*~ 高学年向け~



ほん だimei 本の題名	さくしゃ か ひと 作者(書いた人)	しゅっぱんしゃ 出版社
『「ゴミ」ってなんだろう？ (シリーズ「ゴミと人類 過去・現在・未来1)』	稲葉 茂勝	あすなろ書房
日本のゴミ処理技術は世界でも最高水準に達しているにもかかわらず、ゴミ問題は解決しません。どうすればゴミが減らせるのかを考えてみましょう。		
『獣医師の一日(医療・福祉の仕事 見る・知るシリーズ)』	WILL こども知育研究所	保育社
動物のお医者さん(獣医師)の仕事を調べてみませんか？ 人間と動物がともに生きていくために、獣医師は欠かすことのできない存在です。獣医師は動物だけでなく、人間の健康も守っているのです。		
『見学！日本の大企業 イオン』	こどもくらぶ/編	ほるぷ出版
「すべてはお客様のために」の精神をつらぬき、日本一の総合小売業となったイオン。さまざまな困難にあいながらも、これまで発展をつづけてきた背景をみてみましょう。		
『国際交流を応援する本 10か国語でニッポン紹介5 日本文化・スポーツ』	パトリック・ハーラン/英語 こどもくらぶ/編	岩崎書店
日本の文化を世界の言葉で紹介してみましょう。相手の国の言葉をひとつでも知っていれば、お互いの理解が深まり、距離がぐんとちぢまります。		
『ぼくの犬は無口です』	伊藤栄治	岩崎書店
家で飼っている猫や犬も大事な家族ですよね。これは、そんな家族のことを詩にした本です。思わずクスッと笑ってしまう詩から少し悲しい詩まで、たくさんの想いが詰まっています。		
『わらぐつのなかの神様』	杉みき子/作 宮川健郎/編	岩崎書店
教科書にもものっている名作です。昔の言葉や方言など、わかりにくい言葉には解説がいっしょに書かれていて読みやすくなっています。寒い冬の時期にぴったりのおはなしです。		
『おいでフレック、ぼくのところに』	エヴァ・イボットソン	偕成社
犬が大好きなハルがやっと飼ってもらえた犬、フレック。だけどフレックは、週末だけのレノタル犬だった。事実を知ったハルはフレックを迎えに行くことにして……。ハルとフレック、そして出会った仲間たちが、ほんとうの居場所をさがす冒険に出る！		
『魔法の箱 トモダチがくれた宝物』	ポール・グリフィン	WAVE 出版
ハレーはぼくに、史上最高の宝物が入っているという魔法の箱をくれた。でも史上最高の宝物ってなんだ？ ぼくと彼女と、大好きな犬の、切なくて優しい魔法の物語。		
『マジックツリーハウス 走れ犬ぞり、命を救え！』	メアリー・ポープ・オズボーン	KADOKAWA
大人気のマジックツリーハウスシリーズ。今回は1925年冬、アラスカ北西部の町ノームへ！伝染病で苦しむ人々を助けるため、ジャックとアニーは犬ぞりで命がけの人助けの旅へ！		
『霧のなかの白い犬』	アン・ブース	あかね書房
犬が大好きなジェシーは、祖母が白い犬を飼いはじめて大喜び！けれど、認知症になった祖母は何かにおびえ始めるようになる。原因を探るジェシーは……。戦争の悲しみと、赦しの物語。		

